

ベージャ(Beja)

について



写真: RTPD

ベージャ(Beja)

穏やかな雰囲気のあるベージャ (Beja) を訪ね、征服の歴史と悲恋の物語について学びましょう。

この街の観光は、ポルトガル国境を防衛する戦いで重要な役割を果たした城塞の塔トーレ・デ・メナジェム (Torre de Menagem) から始めましょう。すべて大理石で造られた高さ40メートルのこの塔はベージャのランドマークです。街の全景と周囲を取り囲むアレンテージョ (Alentejo) の田園風景が見渡せるだけに、頂上まで登る価値は十分あります。

近くにはサンティアゴ教会 (Igreja de Santiago)、カテドラル(Catedral)、内部に西ゴート博物館を有するサント・アマロ教会 (Igreja de Santo Amaro) もあります。ドン・マヌエル通り (Rua D.Manuel) に沿って歩き、かつて病院だった建物の大学の前を過ぎると、街の中心レプブリカ広場 (Praça da República) に到着します。

周囲のマヌエル様式の建物が独特の雰囲気を演出する広場には、16世紀のさらし台や、ルネッサンス様式の主要な建築、ミゼリコルディア教会 (Igreja da Misericórdia) があります。その後、トウロ通り (Rua do Touro) に入ると、ジョルジュ・ヴィエイラ美術館 (Museu Jorge Vieira) があります。テラコッタの彫像で知られる20世紀の優れたポルトガル人彫刻家の名を冠した美術館です。

さらに進むと、街のもうひとつのシンボルに到着します。中にレオノール王妃博物館 (Museu Regional de Beja) が同居するノッサ・セニョーラ・ダ・コンセイサン修道院 (Convento da Nossa Senhora da Conceição) です。この修道院は、ここで暮らした尼僧で、フランス人士官に宛てた恋文『Cartas Portugueses (ポルトガル尼僧の手紙)』を書いたとされるマリアナ・アルコフォアードの逸話で有名です。内部は目を見張る美しさです。天井はフレスコ画で飾られ、壁の装飾には15世紀のアズレージョ (施釉タイル) がふんだんに使われています。この芸術様式を学ぶなら、この修道院の見学は外せません。

他の修道院同様、ここでも何世紀も前に卵と砂糖のお菓子が作られ、今でもなおこの地方に残り、甘いもの好きを喜ばせています。

ベージャの城壁の出口のひとつ、メルトラ (Mértola)

門にたどり着くと、目の前にあるのは現在は宿泊所ボザータ (Pousada) に改装されているサン・フランシスコ修道院 (Convento de São Francisco)

です。また、近隣にはノーベル文学賞を受賞したポルトガルの作家ジョゼ・サラマーゴに捧げられた公立図書館があります。

ベージャ近郊の観光としては、田園地方を見るという名目で、ピソニス (villa de Pisões) へのドライブをおすすめします。そこでローマ時代の農場について学び、2000年前のアレンテージョ地方の人々の暮らしに思いを巡らせてみましょう。

絶対のお勧め

- > 歴史のあるカフェ、マルテジーニャス (Maltesinhas) でお茶
- > 城塞の塔トーレ・デ・メナジェム (Torre de Menagem) の頂上に登る

> マリアナ・アルコフォラードの『Cartas Portugueses（ポルトガル尼僧の手紙）』を読む